

汚染水対策スケジュール(1/1)

実施内容	活り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		2月							3月							4月			5月			備考
		1日	31日	1	7	14	21	28	1	7	14	21	28	1	7	14	21	28	1	7	14	21	28	
建屋滞留水処理		【1~4号機 滞留水移送装置】 【3号機 原子炉建屋滞留水移送装置設置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置A系運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置A系運転 ・3号機 原子炉建屋滞留水移送装置B系設置	現場作業	【1~4号機】滞留水移送装置運転							B系統運用開始▽													2020年10月12日 3号機原子炉建屋滞留水移送ポンプ設置の実施計画変更認可(原規発第20101210号) 2020年12月15日 3号機原子炉建屋滞留水移送装置一部使用承認書受領(原規発第2012152号) 2020年12月21日A系運用開始
		【3号機】原子炉建屋滞留水移送装置設置																						
浄化設備		【低放射能核種除去設備】【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状態に応じて適宜運転または処理停止)																				処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転		処理運転																				
		【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧工事着手(9/7~)																						
		【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転		処理運転																				
陸側海水壁		(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																				2016年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可(原規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可(原規発第1709286号) 2019年7月12日運用開始
H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																					
処理水受タンク増設		(実績・予定) ・追加設置検討(タンク配置) ・G4南エリア溶接タンク基礎・埋設置工事 ・Eエリアフランジタンク解体工事 ・G1エリア溶接タンク基礎・埋設置工事 ・H9・H9西エリアフランジタンク解体工事	設計検討	G4南エリア溶接タンク基礎・埋設置工事							使用前最終検査▽													2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可 2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可 2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可 2020年7月8日 H9・H9西エリアにおける中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可
		Eエリアフランジタンク解体工事																						
		G1エリア溶接タンク基礎・埋設置工事							使用前最終検査▽															
		H9・H9西エリアフランジタンク解体完了																						
津波対策		○千島海溝津波対策 ・防波堤設置 (実績) 防波堤撤去・移設、造成岸上げ、L型埋設設置、ボックスカルバート設置、電力式埋設設置 全長約600m施工完了(9月25日完了) (予定) 雨水排水設備設置、構築作業、補強工事	現場作業	補強工事																				工事開始(2019年7月29日) L型埋設の埋込付け開始(2019年9月23日) 防波堤設置2020年9月25日完了 内閣府公表に対して、千島海溝防波堤の補強、日本海溝津波防波堤の新設を公表(2020年9月14日)
		○3.11津波対策 ・建築開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 113箇所/127箇所(2月25日時点) (予定) 外部開口部閉止作業 継続実施		【区分⑤】1~4Rw/B、4R/B、4T/B設置																				
		○3.11津波対策 ・メガフロート移設【2/10時点】 (実績) 番底マウンド造成100%、ハラスト水処理100%、内部除染作業100% メガフロート移設・仮設置:100% 内部充填作業:100% 護岸ブロック製造:100% 積付:100%(333基/333基) 裏込工:34% (予定) 港湾マウンド整備		運搬工事																				
豪雨対策		○豪雨対策 ・排水路新設 (実績) 導流工事、立坑構築工(専設連立立坑)、立坑構築工(上流側到達立坑)、立坑構築工(下流側到達立坑)、立坑構築工(小口径推進)、マンホール設置工	現場作業	▼工事着手 導流工事(専設連立立坑ヤード整備)							立坑構築工事(専設連立立坑)													専設連立立坑:2021/03中包施工開始予定 下流側到達立坑:2021/03下旬包施工開始予定
		▼工事着手 導流工事(専設連立立坑ヤード整備)							立坑構築工事(下流側到達立坑)															

水処理設備の運転状況、運転計画
(2021年3月12日～2021年3月25日)

2021年3月19日
東京電力ホールディングス株式会社

多核種除去設備

	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	
A	停止														
B	停止														
C	停止														

増設多核種除去設備

	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)
A							停止							
B	停止													
C	停止													

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	12(金)	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)
SARRY														停止
SARRY2	停止													
KURION	停止(滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施)													

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2021年3月12日～2021年3月18日)

2021年3月19日
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ポンプエリア	南東エリア												
3月12日	-2070	-2123	-2054	-2259	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-203	-39	2699
3月13日	-2066	-2121	-2049	-2054	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-92	-42	2699
3月14日	-2056	-2110	-2042	-2032	-	-	-	-	-	-	-	-	-	146	-29	2699
3月15日	-2070	-2096	-2042	-2058	-	-	-	-	-	-	-	-	-	319	-21	2699
3月16日	-2065	-2109	-2031	-2103	-	-	-	-	-	-	-	-	-	497	-16	2700
3月17日	-2061	-2088	-2036	-2184	-	-	-	-	-	-	-	-	-	466	14	2700
3月18日	-2077	-2093	-2043	-2236	-	-	-	-	-	-	-	-	-	421	37	2700
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要 核種	
							実施内容 ^{※9}	頻度		
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） 設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） 設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） 工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） 回収した土壌 	屋外	・屋外集積【～0.1mSv/h】	225,400 m ³ [+300 m ³]	270,200 m ³ (291,200 m ³)	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	Cs-137 Cs-134 等 ^{※7}	
				・シート養生【～1mSv/h】	43,100 m ³ [+100 m ³]	71,000 m ³ (71,000 m ³)	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	週1回		
				・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h～30mSv/h】	17,900 m ³ [0 m ³]	24,600 m ³ (24,600 m ³)	・空間線量率を測定し表示	週1回		
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	23,300 m ³ [+300 m ³]	48,000 m ³ (80,000 m ³)	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に1回 ^{※2}		
				瓦礫類の合計		309,600 m ³ [+600 m ³]	413,700 m ³ (466,700 m ³)	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）		週1回
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> タイベック 下着類 ゴム手袋 その他保護衣、保護具 	屋外	・容器収納	30,200 m ³ [-300 m ³]	68,300 m ³ (74,500 m ³)	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 ^{※3}		
			建屋	・袋詰め						
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> 枝葉根 幹根 	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 ^{※3}		
				・屋外集積	500 [微増 m ³]	6,000 m ³	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回		
			伐採木の合計		134,400 m ³ [微増 m ³]	175,600 m ³ (175,600 m ³)				
	Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	421 m ³ [-1 m ³]	700 m ³	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視		常時
				使用済セシウム吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,719 本 [+17 本]	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画		—
・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）						・空間線量率を測定し表示	—			
・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）			364 本 [+8 本]		584 本	・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—			
・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）						・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回			
・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）			973 本 [0 本]		1,596 本					
フィルタ			屋外		・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】 ・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）						
RO装置のフィルタ類			屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—		
樹脂			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h） ・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—		

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 11, 12}	保管容量 ^{※1, 12}	管理方法		主要 核種
							実施内容 ^{※9}	頻度	
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約252,700本相 当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等
				・その他	ドラム缶 10,155 本				
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納	2,381 本 [+39 本]					
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m ³ ^{※4}	—	・事故前の保管量の推定値により確認	3ヶ月に1 回	
							・プール水位の確認	月1回	
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,534 m ³ ^{※5}	—	・貯蔵量の確認 ^{※8}	3ヶ月に1 回	
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 ^{※6}	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回			
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回			
— ^{※10}	瓦礫等	・回収した土壌	—	・シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	11,300 m ³ [+4,000 m ³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等
		・回収した土壌以外の瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	29,900 m ³ [-3,300 m ³]			
			建屋	・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	1,900 m ³ [微減 m ³]			
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	—	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	200 m ³ [0 m ³]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等
仮設集積の合計					—	43,400 m ³ [+700 m ³]			

※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2021年1月29日現在、水処理二次廃棄物は2021年3月4日現在の保管量及び保管容量である。
尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2020年7月14日認可）に記載している保管容量である。

※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

※3 6月～9月は、1週間に3回。

※4 2020年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m³。

※5 2020年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,386m³、造粒固化体：1,148m³。

※6 2020年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。

※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×103年）、Ni-63（半減期：約1.0×102年）、Se-79（半減期：約1.1×106年）、Tc-99（半減期：約2.1×105年）、I-129（半減期：約1.6×107年）等が検出されているものがある。

※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。

※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2020年7月14日認可）に未記載。

※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。また、保管量については集積する最大の量である。

※11 []は、前回報告値との差を示している。

※12 一部の値について端数処理で100m3未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m3未満の増減を微増・微減と示している。

ガレキの保管量の現状（2021年1月29日時点）

屋外集積（0.1mSv/h以下）対象エリアの保管量^{※7}

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※1、4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≤0.001	AA	36,400	16,800	+300
≤0.005	A2	9,500	— ^{※5}	— ^{※5}
	J	8,000	6,200	0
≤0.01	A1	4,300	— ^{※5}	— ^{※5}
	B	5,300	5,300	0
	C	31,000	31,000	0
≤0.025	C	35,000	35,000	微増
≤0.028	U	800	700	0
≤0.1	C	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
	N	10,000	9,600	0
	O	51,400	44,000	0
	P1	64,000	62,800	-100
	V	6,000	6,000	0
合計		270,200	225,400 ^{※6}	+300

2021年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	260,100
--	---------

シート養生（1mSv/h以下）対象エリアの保管量^{※7}

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※1、4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≤0.3	D	4,500	2,600	0
≤1	E1	16,000	14,600	+200
	P2	9,000	5,800	0
	W1	23,000	9,900	微増
	W2	6,300	2,300	-200
	X	12,200	7,900	0
合計		71,000	43,100	+100

2021年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	70,700
--	--------

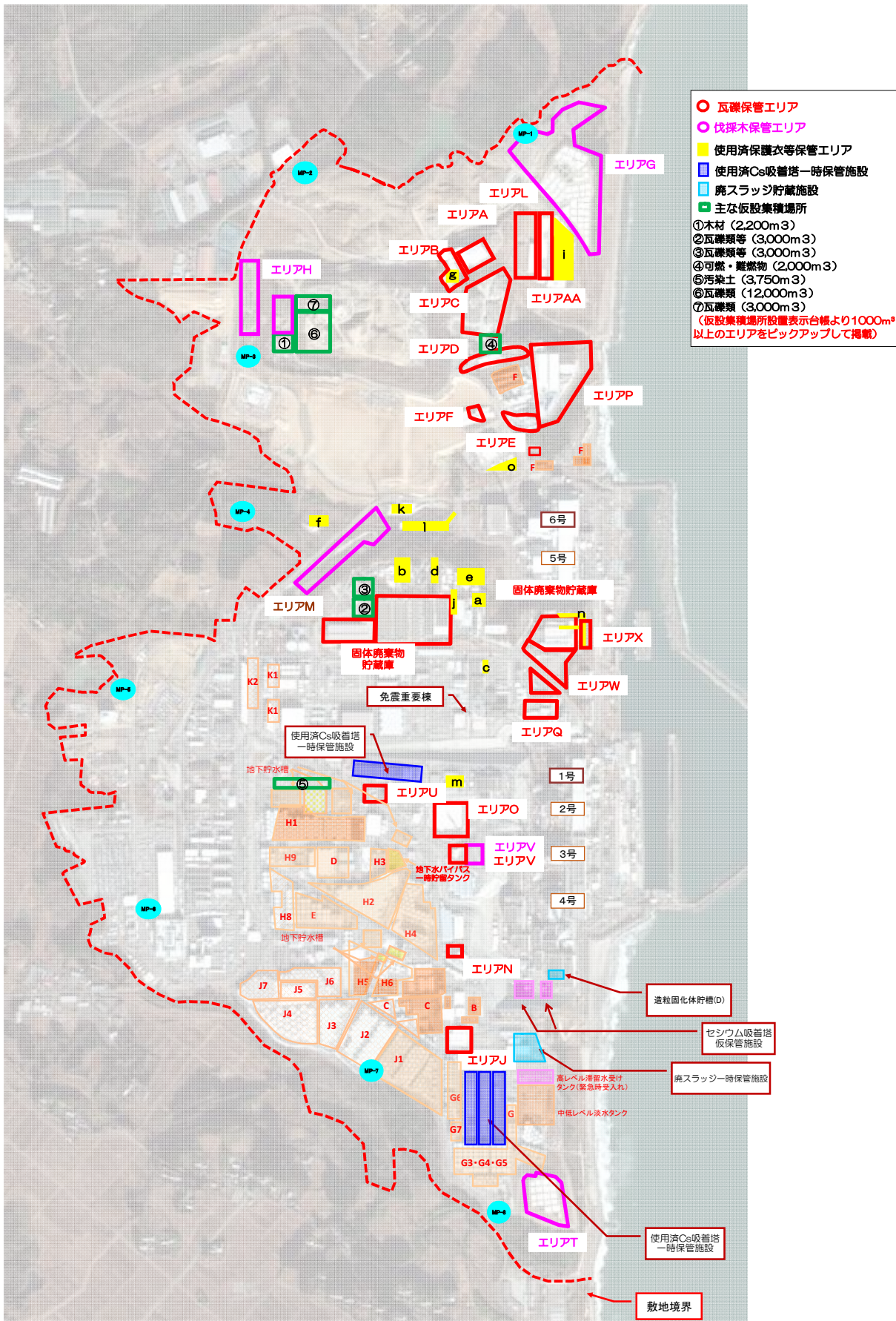
30mSv/h以下対象エリアの保管量^{※7}

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※1、4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≤5	Q	6,100	0	0
≤10	F1	700	600	0
	E2	1,800	1,200	0
≤30	L	16,000	16,000	0
合計		24,600	17,900	0

2021年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	28,500
--	--------

- ※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す。
- ※3 瓦礫類の保管量（想定）は、実施計画（2020年7月14日認可）の予測値を示す。
- ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。
- ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「—」と記載。
- ※6 エリアA1及びA2は1～30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。合計値には、この仮設集積分を含む。
- ※7 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



- 瓦礫保管エリア
 - 伐採木保管エリア
 - 使用済保護衣等保管エリア
 - 使用済Cs吸着塔一時保管施設
 - 廃スラッジ貯蔵施設
 - 主な仮設集積場所
- ①木材 (2,200m³)
 ②瓦礫類等 (3,000m³)
 ③瓦礫類等 (3,000m³)
 ④可燃・難燃物 (2,000m³)
 ⑤汚染土 (3,750m³)
 ⑥瓦礫類 (12,000m³)
 ⑦瓦礫類 (3,000m³)
- (仮設集積場所設置表示台帳より1000m²以上のエリアをピックアップして掲載)

提供：日本スペースイメージング（株）、©DigitalGlobe